



9月はスポーツの秋？世界陸上、男女サッカー、ラグビー、そしてプロ野球と見どころ満載。うちで和みながらテレビ観戦、そして図書館で借りてきた本を早めに読了するためには、なるべく勤務時間中で仕事終わらせなきゃ。ワークライフバランスの実践にもなるしね。

農産物にセシウムが？

・・・ならば空気中にもただよってんじゃない？



東日本大震災による福島第一原発の事故後、東北・関東の農地や農産物、畜産物から相次いで高濃度のセシウム汚染が発見されています。今後汚染は、産地標記のない堆肥の流通などを通じて、間違いなく全国に広がるとの見方もあります。セシウムの半減期は30年を超えるため、長期間、放射能で汚染された農産物が作られることになります。日本の農業は壊滅的な状況が続くのもかもしれません。

また、自治労衛生医療評議会での報告によれば、東京近辺の医療機関のレントゲンなどで、放射性物質の付着が確認されています。空気中を高濃度で放射性物質が漂っている可能性が高いんです。

これからの広範囲な除染作業が待たれますし、日頃からの留意などで防いでいくしかないでしょう。

誰がこんな状況をつくったんでしょう？言うまでもなく前政権の自民党や電力会社を含む産、官、学の関係者「原子カムラ」の方々ですね。この面々には退場いただくとしても、経済優先から生活優先へと、社会のシステムそのものを変えていかなければなりません。

そこで、日本中の脱原発の声を集め、「さようなら原発1000万人アクション」ということで、脱原発社会をつくるための様々な取り組みを行うこととしています。今回のお願いは、署名!! ひとり二人では無力でも、たくさんの署名を集めれば大きな力になりますので、全組合員のご協力をお願いします。下記ふたつの署名を同時に回付しますので、どちらにも記入を。くれぐれも片方のみ、ということのないように。子どもOK、代筆可ですが、住所、氏名はフル記入して下さい。

◆大間原発建設中止と脱原発社会の実現を求める署名

こちらは、大間原発の建設中止を求めることが主眼です。ひとたび事故が起これば壊滅的な被害となる原発が、40キロ先とはいえ遮蔽物もなにもない津軽海峡対岸で稼働するなんて、ゾッとしますよね。

◆脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める署名

こちらは、1000万人アクションの一環で、全国的な署名となります。目指そう1000万署名!!

◆組合員ひとり10筆を目標とします。

◆第1次の集約期限＝9月14日 ※目標数に達しなかった場合、再度ご協力をお願いします。

平和とはなにか、みんなで考えよう

【木古内町平和の集い】



8月30日、青年女性部を中心に町職労から25名、知内や福島から9名、そして地区連合から3名と、およそ40名の参加により【木古内町平和の集い】を開催しました。

はじめに主催者を代表し、加藤崇誠青女部長が「みんなで平和とはなにかを考えよう」とあいさつ。つぎに、「動画で見る太平洋戦争」と題しネット動画による太平洋戦争の開始から敗戦までを確認。

報告は、6月に連合北海道の「平和行動inおきなわ」に参加した教委分會石川

充さんから。石川さんは今回に残った「普天間基地移設問題」と米軍駐留基地ではたらく人たちが結成する「全駐労の現状と課題」をスライドなどを使って説明。基地の移設は雇用の場をなくすることにつながるため、複雑な気持ちだったと話していました。

自治労北海道の一員として5月末から6月にかけて「被災地支援」に赴いた総務課分會敦澤裕也さんからは、被災地に津波が残した爪痕や支援内容などを、こちらも画像を交えて説明。気持ちの重くなるなか、意外にも被災地の方々からは明るく、前を向いて生活していたことが印象的などと話されていました。

最後に、渡島地本書記長であり渡島フォーラム事務局長でもある渡辺康文さんから、フォーラム活動への協力依頼を含め総括が話されました。

1時間ほどの集い終了後、懇親会へと流れ、そのなかでも今回の感想などについて意見交換。敦澤さん、「鉄コン筋クリート」はなかなか言いづらいですね。石川さん、敦澤さん、いそがしいなか参加され、そして報告の準備などありがとうございました。

脱原発の取り組み

- 9/3 渡島フォーラム 管内街宣行動＝残念ながら雨で延期 ^_^;;
- 9/5～14 脱原発署名 ※執行部は事業所、農漁協などへの依頼行動
- 9/18 さようなら原発1000万人アクションin北海道(札幌市) 塚泰幸執行委員など5名参加予定
- 9/19 さようなら原発1000万人アクション9.19全国集会(東京明治公園) 加藤崇誠青年女性部長参加予定
- 9/24・25 道南フォーラム 大間原発・下北半島核施設視察
- 9月議会 大間原発の建設中止などを求める意見書採択行動